

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

市民活動お役立ち情報を リニューアルしました。

「NPOってなんだろう?」「市民活動のはじめかた」「情報発信/インターネットを活用しよう!」の3つです。
イラストとわかりやすい図で、NPOや市民活動への疑問やお悩みをどんどん解決していきます!
今後も運営に役立つ情報を発行していきます。



たがさぽで配布しています
ブログ・HPからダウンロードできます

ご活用ください!



ヒント from たがさぽPress

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

01

2020年10月23日(金)掲載

多賀城の多文化共生を考える
日本語サポーター講座!

02

2020年11月9日(月)掲載

おらいのまち(町内会)新聞をつくるコツ
~まちの魅力を紙面に載せて~
を開催しました。

03

2021年1月30日(土)掲載

ブックレビュー
『ソーシャルデザイン実践ガイド
地域の課題を解決する7つのステップ』



“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。
興味がわいたら「たがさぽPress」へ!

<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、
ぜひご協力をお願いします!
また、以下のような情報もお待ちしております!
○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい

What's? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、
みんながタグを組んで地域をつくる、
多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぽのツイッターへの
フォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>

たがさぽのホームページは
こちらへアクセス!



発行:多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3
(多賀城市文化センター北隣・上下水道部向かい)

電話:022-368-7745 / FAX:022-309-3706

編集:NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター



ヒト コトモノ
を届けます

たがさぽちゃん



2021 summer
vol.94
take free

「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、
社会や地域のために何か活動したいという方を応援するフリーペーパーです。

自分と違うっておもしろいこと 「ともだち・カワン・コミュニティ」



会話のテーマは「朝・昼・夕ごはん」。わたしの
家ではこうだけど、あなたの家ではどう?



ともだちできました!

青年海外協力隊で滞したマレーシアのサラワク州。
宗教・民族・年齢が違って自分らしく振る舞う人々に出会っ
たことがきっかけで、中鉢典子さんはともだち・カワン・コミュ
ニティを立ち上げました。

1月16日にたがさぽを会場に開催された「ともだち・カワン・
カフェ」の参加者は年齢も国籍もさまざま。ゲームや会話を
通して見つけた自分と相手の共通点や違いを楽しみなが
ら交流を深めました。

中鉢さんは外国人・日本人ではなく「あなた」であるこ
とが大事と伝えます。団体が目指すのは「自分の良さと
他人の良さを認め合いながら互いに活かしあうことで、心の
交流を深めていく」こと。最後は民族衣装を着て普段と違
う自分を楽しみ、参加者は「明るい気持ちになりました」
と笑顔で話していました。

ともだち・カワン・
コミュニティとは...

多様な文化や背景を持つ人々と
心の交流を生み出すアクティビ
ティ(街歩きイベント)や場づく
りを行っています。これまで多
賀城・塩釜・七ヶ浜にて開催。



ともだち・カワン・コミュニティ代表
中鉢典子さん

連絡先

メールアドレス tomodachi.kawan.c@gmail.com
Facebook ともだち・カワン・コミュニティ
Tomodachi Kawan Community



たがさぽ
チャンネル

ともだち・カワン・カフェの様子は
「たがさぽチャンネル」から見るこ
もできます!!



顔の見える関係づくりで暮らしやすいまちに

大代地区公民館を会場に行われた外国人技能実習生とともに学ぶ防災研修は、地域住民も一緒に取り組みました。そこには防災・減災だけではない意味があります。

地域の地図が住民と技能実習生をつなぐ交流のツールに

2020年11月、大代地区に住む外国人技能実習生と地域の方が一緒に学ぶ防災研修が行われました。多賀城市で東日本大震災のときにどんな被害があったのか、緊急時のサイレンはどんな音なのか、「避難所」「炊き出し」などの災害時に使われる外国人には難しく感じる言葉も学びました。さらに参加者がグループにわかれて、「この道知ってる?」「ここは危険かもしれないね」と、地域の地図を指さし、その場所の特徴を話しながら避難ルートをたどりました。

大代地区公民館の高橋秀秋さんは、「たがさぼ主催の外国人とのまちあるきイベントに参加したことで、大代地区に多くの外国人技能実習生が住んでいることを知りました。言葉もわからない場所で、地域の人と接する機会もなく不安を感じているのではないか」と思い、同じ地域住民として関わりを持つことの必要性を感じたそうです。



▲避難ルートを確認しながら、お互いに気になることを質問しあい交流を深めました。

みんなが安心して暮らせる大代地区を目指して

「交流を重ね、顔が見える関係性をつくることは、みんなが安心して暮らせるまちになる」と高橋さんは話します。お互いが気かけあうことは、外国人に限らず、高齢者・障がい者・子ども・妊娠中の方など、避難時に支援が必要な人にとっては心強く、安心感につながります。それは災害時だけではなく、コミュニケーションをとることで地域のルールを知ることができ、お互いの困りごとを解消するきっかけにもなります。



▲言葉だけではなく、ジェスチャーを使って話すことで聞き手もイメージしやすくなります。

今回の防災研修の様子がテレビで報道されたことで、大代地区公民館には外国人の方とどう接していいか迷っている地域の人から相談が寄せられるようになりました。「コロナ禍で難しいこともあるが、やらないことには何も生まれない。今年も取り組みを続け、実習生に対し地域の仲間として声をかける人をさらに増やしていきたい」と高橋さんは話していました。

昨年の「やさしい日本語」研修では、わかりやすい日本語に変換するための練習を行いました。



大代地区公民館では、防災研修のほかに「外国人技能実習生との交流育成サポーター養成講座」も行われました。この講座では、技能実習生の出身国の生活習慣や日本語の伝え方を学びました。今年も!多賀城市に在住(通勤・通学している方を含む)している高校生以上の方を対象に、同講座を行います。外国人技能実習生との交流に関心のある方は、大代地区公民館(022-364-8442)までお問合せください。

昨年の防災研修の様子は
こちらからご覧いただけます。



市民活動 はじまりのはじまり

4月に第1号が発行された旭ヶ岡町内会の広報紙「旭ヶ岡町内会だより」。活字が苦手な編集長が新聞作りに夢中になったきっかけとは...



町内会新聞で見つける温故知新

2020年11月に行われたたがさぼ主催の「町内会新聞講座」。この講座に、のちに編集長になる富田貞則さんが参加したことが「旭ヶ岡町内会だより」誕生のきっかけでした。現役の新聞記者を講師に迎え、記事の作り方やネタの見つけ方を学ぶ講座の中で、富田さんが見つけた「ネタ」は1枚の古い写真。そこに写る建物や町並みから、撮影された場所や時期を推測する作業を通して「自分たちのまちが昔どんなところだったのか」を紹介する新聞を作ろうと思いたちます。

「もともと、昔のことに興味があった」という富田さん。その探求心と「広報紙にあいまいな情報は載せられない」という責任感から、情報と資料の収集に奔走しました。取材を続ける中で、以前から交流のある91歳のおじさんが記憶を頼りに昔の旭ヶ岡の鳥瞰図を描いていたことを思い出します。改めて記者として訪ねてみると、さらに多くの絵が。感動した富田さんは絵を地域の宝だと感じ、新聞に掲載することにしました。

昔を知る方には懐かしいアルバムとして、そして若い世代や転入者が知らない地域の姿を伝える媒体として、何より富田さん自身が楽しんで作っていることが伝わる魅力的な新聞となっています。故(ふる)きを温(たず)ね新しきを知る。皆さんなら、何を発信しますか?

「旭ヶ岡町内会だより」はたがさぼで閲覧できます

お役立ちアラカルト

「やさしい日本語」に言い換えてみよう

Q. 津波を避けるために高台へ避難してください。

A. 大きい波がくる。高いところへ逃げてください。

Q. 大雨警報が出ています。

A. 雨がた〜さん降ります。気をつけてください。



完成した第一号の裏面です。1976(昭和51)年頃の文化センターの写真と、昭和初期の留ヶ谷村の絵が見どころです。



▲編集長の富田さん。情報を収集しているうちに、どんどん調べたいことが出てくるので、次号のアイデアにも事欠かないそうです。

「やさしい日本語」は、日本語が少し話せる人を助けるものです。外国人だけでなく、子ども・高齢者・障がい者の方にも。

講座案内

多賀城市による「やさしい日本語」出前講座があります!
詳しくは地域コミュニティ課まで
地域コミュニティ課:022-368-1141(内線251-252-253)



命にかかわる災害情報を伝えるときに活用したいね